

浮世絵の技術を現代に伝える職人 ヨーロッパで実演 スロベニア、チェコ、ハンガリー、ブルガリアで 「彫り」・「摺り」のレクチャーとワークショップを実施

国際交流基金(ジャパンファウンデーション)では、日本文化紹介のための専門家派遣事業を行っています(日本文化紹介派遣プログラム)。世界各地へ派遣される専門家が、華道・茶道などの伝統文化からアニメーションや建築などの現代文化まで、日本の生活や文化に関するさまざまな講演会やデモンストレーションを実施し、多面的な日本文化理解を促進しています。この度は、海外でも高い人気を誇る浮世絵を、「彫り」と「摺り」のデモンストレーションを交えたレクチャーで紹介します。

江戸時代から続く伝統の木版画、浮世絵は、欧州では人気が高く、公立の美術館もコレクションをしていますが、その制作技術や伝統的な手法について触れる機会は多くありません。今回の派遣では、浮世絵職人が直接「彫り」と「摺り」をレクチャーするほか、希望者を対象に「摺り」のワークショップも実施。“ばれん”や和紙といった、浮世絵独特の道具に直接触れることで、浮世絵の技術を体験していただきます。



葛飾北斎「神奈川沖浪裏」制作年代 1823-1833年

レクチャー・デモンストレーション概要

講師 | 安達以乍牟 (解説)

堀本長志 (彫り師)、川合千春 (摺り師)

(3名とも アダチ版画研究所)

江戸時代と同じ技術を今に伝える伝統木版画の工房「アダチ版画研究所」の3名が実施。葛飾北斎の最高傑作「神奈川沖浪裏」を題材に、白紙から完成までの、「彫り」と「摺り」の工程の一部を、経験60年以上の浮世絵のプロ、安達以乍牟氏(アダチ版画研究所理事長)が解説します。ベテラン彫り師が細かい「彫り」の技術を実演。「摺り」は若手の職人が技を披露します。

レクチャー・デモンストレーション日程(印の日程はワークショップも実施)

スロベニア (10/5 リュブリャナ/民族学博物館)

チェコ (10/7 プラハ/建築財団ホール、10/8 在チェコ日本大使館)

ハンガリー (10/11 ペーチ/ペーチ大学美術学科、10/12 ブダペスト/ハンガリー美術大学)

ブルガリア (10/14 ソフィア/国立海外美術館、10/15 プロヴディフ/歴史博物館)

※ 取材をご希望の場合は、担当者まで事前にご連絡をお願い致します。

お問い合わせ:国際交流基金文化事業部生活文化チーム 担当:山出(やまで)
電話:03-5369-6060 FAX:03-5369-6036 Email Yukiko_Yamade@jpf.go.jp